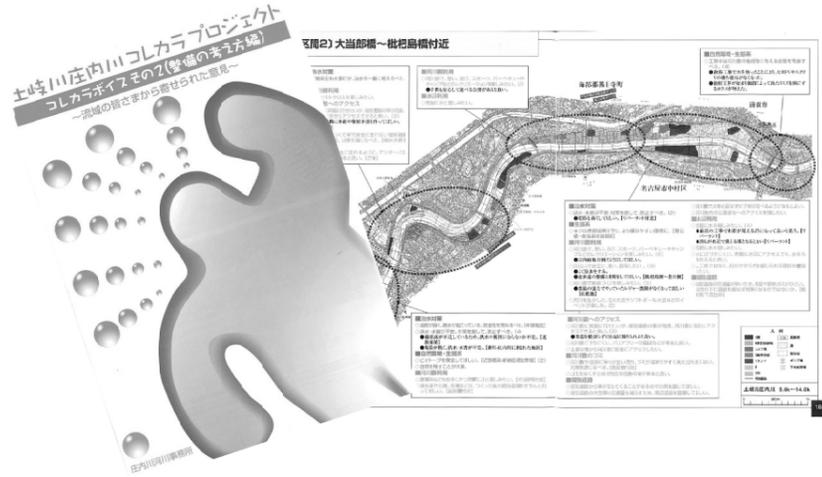


### 土岐川庄内川コレカラプロジェクトの実施状況と今後の進め方について

市民意見交換会やオープンハウス、車座集会等における流域住民の意見を取りまとめた「コレカラボイスその2【整備の考え方編】」など、地域懇談会の実施状況や今後の進め方について説明し、次の意見を頂きました。

#### 土岐川庄内川コレカラプロジェクト コレカラボイスその2【整備の考え方編】



・提言は四部門に分かれていますが、組合せで考えてみるのも良いと思いました。例えば、生態系と水は関係があり、治水とも関係がありますし、渡し場があったところは地形条件が良いところを選んでいるでしょうし、組み合わせて考えていくと良いと思います。



内田委員

・国交省と支川を管轄する行政あるいは県と市町がどのような連携状態かについて、この流域委員会に出して頂きたいです。市民の意見が活発ですが、それに対し行政はどう考えているのでしょうか。国交省と行政との連携はどこがうまくて、どこがまずいのか、ということも含めてこの流域委員会に出して頂きたいです。



原田委員

・同じ川であるにも関わらず、整備レベルをどう設定するか、整備レベルが違うものがつながったところでどんな問題が起きるのか。また、環境省など他の機関との連携など整備計画を進めて行く上で、どういうところについて、どんな連携が必要なのか、流域委員会委員で具体的な項目を考え、次回までに出して頂くことにします。



辻本委員長

・多くの具体的整備に関する意見が出ているので、優先順位をつけていかなければならないと思いますが、それをどうやって行うのか。20年、30年の目標をどう考えていくのか興味をもちました。



寺本委員

### 平成16年の豪雨災害を踏まえた治水対策のあり方について

新潟・福井等の平成16年度の豪雨災害に関する映像による記録（ビデオ）、それらを受けた豪雨災害対策総合政策委員会（社会資本整備審議会河川分科会）における提言、本年3月に実施した福井豪雨視察でいただいた感想・意見を紹介し、平成16年の豪雨災害を踏まえた治水対策のあり方について次の意見を頂きました。

#### 福井豪雨被災状況



越美北線橋梁流出（福井市安波賀）



足羽川破堤箇所（福井市春日）



小菅委員

・福井視察した際、破堤の問題に対し流木対策が大事であると感じました。

・昭和34年伊勢湾台風や昭和51年長良川の決壊と平成12年東海豪雨など、20年±数年間に1回被害に遭うことは確かですが、3～4年に1回災害に遭うとなると心構えがあるかも知れませんが、20年±数年に1回の災害では人間は常時災害に対して意識を持つことが可能なのでしょうか。



阿部委員

・今、対応が迫られていることはソフト対策であり、超過洪水で整備計画以上のものが来ると資産と人が集中する名古屋は水浸しになる状況の中で、整備計画に川の整備以外のことをどこまで記述するのでしょうか。



片岡委員

・流域委員会で、どんな仕組みがあるのかを積極的に提案し、それを議論した結果、非常に有効なアウトカムズを生むならば、積極的に書いてもらおうと思います。



辻本委員長

・住民もちろん大切ですが、合併による行政の連絡体制にも問題があると言われる中で役所の防災体制もとても大切で、行政におんぶにだっこではいけないといつもプロとしてやらざるを得ない役割があり、それをしっかり維持していく仕組みをつくっていくことも必要であると思います。



寺本委員

・人の心理も考えながら、どの部分でどこまで安全性を担保するのかというのが一つの視点であり、一方で住民自身の意識を高める必要もありますが、それを今度何で担保していくのか、文章だけでなく、どんな手法があるのかまで考えていき、そのバランスをこの地域で考えていくのが課題になるかと思っています。



辻本委員長